



### 脱炭素社会の実現に向け市民や事業者への協力推進を

創政会 石井 麻理

●施政方針における脱炭素社会の実現について

Q 市は脱炭素社会の実現に向け、ゼロカーボンシテイを表明し、2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを目指すに当たり、市民や事業者と気候変動危機の問題を情報共有し、協力を推進する考えは。

A 気候変動の危機的状況をイベントや広報などで情報発信し、共有化を図るとともに、協働しながら二酸化炭素の排出削減に取り組むたい。

Q 環境教育や周知の充実をどう考えているか。

A 学校教育現場と連携し、環境教育の充実に努めたい。先進自治体や環境保全団体がやっている、効果的な啓

発手法などを検討したい。

●高齢者の孤立化と伝統文化の継承について

Q 高齢化による伝統文化の後継者不足が問題となっているが、状況をどう考えるか。

A 民俗芸能の消滅は、地域の人々の歴史や文化が失われるものであり、後継者不足解消は喫緊の課題と考える。

Q 令和4年度から本格的に実施される、あやせコミュニティスクールの中で、伝統文化を考える機会はあるか。

A コミュニティスクールと一体的推進を図る地域学校協働活動の中で、さらさら踊りなどの文化継承の機会を設けることができるよう、情報提供など働き掛けを行いたい。



### まちのコイン事業を導入し地域の活性化を図らないか

創政会 金江 大志

●これからの時代を見据えた持続可能な行政運営について

Q 施政方針では、行政手続きのデジタル化などへの取り組みが掲げられている。情報通信技術(ICT)を活用し、市民サービスの向上にどうつなげていくか。

A 事務作業を効率化し、職員にしかできない業務に注力できる環境を整え、市民の利便性向上につなげていく。

Q 安定した行政運営を行うためには、職員の確保と育成に、より力を入れて取り組

む必要があると考える。今後、どう取り組んでいくか。

A 保健師などの専門職は通年募集を行い、人材確保に努める。職員の育成では、各種研修の充実や、令和4年度からは精神面のケアを行うメンター制度を導入する。

Q 県によるSDGsつながりポイント事業で活用されている「まちのコイン」をどう認識しているか。また、本市でも「まちのコイン」事業を導入し、活用していかないか。

A 持続可能な開発目標



### 深刻化しているひきこもりの現状と今後の支援は

創政会 武藤 俊宏

●「ひきこもり」の捉え方や支援の在り方について

Q ひきこもりに関して、本人や家族はさまざまな悩みや問題を抱えている。コロナ禍で生活様式も変化し、多重化、深刻化した現状と支援は。

A 社会的孤立の長期化や家族などの経済的、精神的負担を問題として捉えており、個々に寄り添い支援していく必要がある。訪問相談や就労準備支援を継続するとともに、社会的活動の幅拡大や家族の負担が軽減できるよう、情報通信技術(ICT)を活用した事業を研究したい。

Q 同じ悩みを抱えている方が意見を話せる場の設置や、家族会の開設を考えては。

(SDGs)に関連した行動を取ると、ポイントが貯まり、地域の登録店舗で利用できるもので、地域とのつながりをつくる通貨と認識している。また、地域の社会的課題を解決し、地域と人がつながり、活気あるまちを目指すためにも、導入自治体の動向に注視し、調査研究を進めていく。

A 外出を難しく感じる方もおり、オンラインを活用した交流の場を研究したい。

Q 不登校の児童・生徒には、細やかで継続的な対応が必要と考えるが、どうか。

A スクールソーシャルワーカーと連携し、心のケアや家族への支援の充実を努めている。今後も、子どもの変化にいち早く気づき、支援したい。

Q 児童・生徒の自己肯定感を高めるために、市はどう支援を行っているのか。

A 学級全体で社会性を向上させる、ソーシャルスキルトレーニングなどを実施している。今後も教員の研修を充実させ、全ての児童・生徒の自己肯定感を高めていきたい。



チューリップが咲いていました<深谷中央2号公園にて>



### 県営寺尾団地建て替えや比留川遊歩道の整備時期は

二見 昇

●県営寺尾団地建て替えと比留川遊歩道整備について

Q 地域住民から周辺道路が狭く危険であるため、安全に通行できるように比留川遊歩道の早急な整備が求められている。県営寺尾団地建て替えに併せ進められると捉えているが、建て替え計画の概要は。

A 令和4年度から建て替えに着手し、6年度までを1期、8年度までを2期、10年度までを3期工事とする予定と県から聞いている。移転先や時期など居住者の希望を聞き

と併せながら、整備を着手す

既存団地などに順次、移転に協力いただくと聞いている。

Q 長い年月をかけて、計画に沿って、建て替えを実施していくが、現在の棟数や戸数などは変更されるのか。

A 棟数は、現在の5階建て9棟を6階建て6棟とし、戸数は、270戸で変更はなく、その他では、集会場、広場、駐車場や駐輪場を築造する予定と聞いている。

Q 比留川遊歩道の整備は、県営寺尾団地の建て替えと併せながら、整備を着手す

ると聞いているが、比留川遊歩道の整備時期は。

A 遊歩道の予定場所にある、既存の駐輪場や汚水処理施設などの解体は3期工事に予定されているため、詳細は今後、県と詰めていくが、8年度に着手し10年度の完成を目指し、関係機関とも調整し、事業の進捗を図っていく。

### 議会用語のミニ知識

#### 「表決」

表決とは、議会の意思決定に議員が参加するための手段で、賛成、反対の意思表示をすることをいいます。

このように、議長が表決をとることを「採決」といい、表決の結果得られた議会の意思決定(例えば可決、否決、同意など)を「議決」といいます。したがって、表決は、議会の審議過程における最終手続になります。

表決の方法には、大別すると議長が議題に関して賛成する者を起立させ、その多少を認定して行う「起立表決」と起立者の多少を認定しがたい場合に行う「投票による表決」、議長が異議の有無を諮る「簡易表決」の3つがあります。本市議会においては、通常「起立表決」と「簡易表決」が多く用いられています。



市の木「やまもみじ」



市公認キャラクター「ブタッコリ〜」